

- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

シリアル番号とリビジョンをお知らせください。

シリアル番号とリビジョンは、本体に貼付されている（製品と同梱されている）シリアル番号シールに記載されています。



S/N 以降のひと続きの文字列がシリアル番号、スペース以降のアルファベットで始まる文字列（上記例の「A1」部分）がリビジョンです。

● LEDの点灯状態について

- スイッチ類の設定状態をお知らせください。
- LEDの点灯状態をお知らせください。

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。
- 可能であれば、早期解決のために、エラーメッセージや設定ファイルをお送りください。（パスワードや固有名など差し障りのある情報は、抹消してお送りいたしますようお願いいたします。）

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をあわせてお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

14 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレスイス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレスイスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレスイスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2004-2015 アライドテレスイスホールディングス株式会社

15 商標

CentreCOMは、アライドテレスイスホールディングス株式会社の登録商標です。

16 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

17 電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

18 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

19 マニュアルバージョン

| | | |
|----------|-------|------|
| 2004年5月 | Rev.A | 初版 |
| 2009年11月 | Rev.B | 仕様変更 |
| 2010年3月 | Rev.C | 誤記訂正 |
| 2015年3月 | Rev.D | 誤記訂正 |



CentreCOM LMC100 シリーズ 100 M 2 心 MMF/SMF メディアコンバーター

CentreCOM® LMC101/102/103/103LH ユーザーマニュアル

1 特長

- 用途に応じて2km*~最長40km*までの伝送距離を持つシリーズをラインナップ
- 超小型サイズ、軽量ファンレス設計
- 100Mbps Full Duplexのオートネゴシエーション機能
- 一方のポートリンクが切断された場合、もう一方のポートリンクも自動的に切断するミッシングリンク機能
- 各ポートの接続状況がLED表示で一目でわかるリンクテスト機能
- プラグ抜け防止機能付きのACアダプターを採用

* 光ケーブルの最長距離は、ケーブルの伝送損失により異なります。

[オプション] (別売)

- 19インチラックマウントキット AT-RKMT-J06
- 電源ユニット付き19インチラックマウントキット AT-RKMT-J11PS
- 電源ユニット付きスライドレイ19インチラックマウントキット AT-RKMT-J12PS
- マグネットキット AT-BRKT-J20
- DINレールマウントキット AT-DRMT-J01

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

<http://www.allied-tesis.co.jp/>

2 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- CentreCOM LMC101/102/103/103LH 本体 (いずれか1つ)
- ACアダプター(ケーブル長 約1.95m、1個)
- アース用ネジ(1個)
- ユーザーマニュアル(本書)
- 製品仕様書(英文:1枚)
- 日本語マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。
- 製品保証書(1枚)
- シリアル番号シール(2枚)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれますので、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。



安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない 本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない 感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物 火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

通風口はふさがない 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ふさがない

湿気やほぐりの多いところ 油煙や湯気のある場所には置かない 火災や感電の原因となります。

設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない 火災や感電の原因となります。本製品に付属のACアダプターはAC100-120Vで動作します。

電圧注意

付属の電源アダプター以外使用しない 火災や感電の原因となります。必ず、付属のACアダプターを使用してください。

付属品を使う

コンセントや配線器具の定格を超える使用はしない たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く 感電の原因となります。

プラグを抜く

ケーブル類を傷つけない 特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

傷つけない

光源をのぞきこまない 目に傷害を被る場合があります。光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。

のぞかない

適切な部品で正しく設置する 取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります

正しく設置

適切な部品で正しく設置する 取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります

のぞかない

適切な部品で正しく設置する 取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります

正しく設置

ご使用にあたってのお願い

- 次のような場所での使用や保管はしないでください
- ・直射日光のあたる場所
 - ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
 - ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
 - ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(仕様にて定められた環境条件下でご使用ください)
 - ・振動の激しい場所

- ・ほぐりの多い場所や、ジュースを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意 本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いにはいねいに 落としたり、ぶついたり、強いショックを与えたりしないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で 誤動作の原因になります。

プラグを抜く

機器は、乾いた柔らかい布で拭く 汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

めらすな 中性洗剤使用 固く絞る

お手入れには次のものは使わないでください 石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください)

シンナー類不可

3 アイコンの説明

| アイコン | 意味 | 説明 |
|------|-----|----------------------------------|
| | ヒント | 知っている便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。 |
| | 注意 | 物的損害や使用者が傷を負うことが想定される内容を示しています。 |
| | 警告 | 使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。 |
| | 参照 | 関連する情報が書かれているところを示しています。 |

4 各部の名称

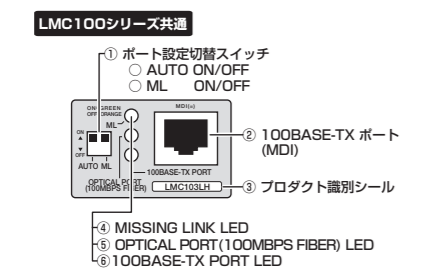


図1 100BASE-TXポート面

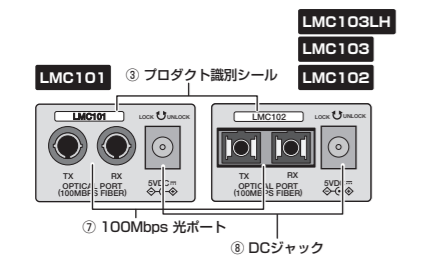


図2 100Mbps光ポート面

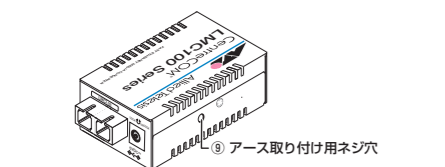


図3 アース取り付け面

- ポート設定切替スイッチ**
100BASE-TXポートの通信モード、およびミッシングリンク機能を設定するためのディップスイッチです。
 - AUTO ON/OFF**
オートネゴシエーション機能のON/OFFを設定するためのスイッチです。
出荷時設定は「ON」です。対向の機器がオートネゴシエーション機能をサポートしない場合はこのスイッチをOFFにします。
ON : 100Mbps Full Duplexのオートネゴシエーション機能が有効になります。
OFF : 100Mbps Full Duplex 固定になります。
 - ML ON/OFF**
ミッシングリンク機能※およびリンクテスト機能のON/OFFを設定するためのスイッチです。
出荷時設定は「ON」です。
ON : ミッシングリンク機能が有効になります。
OFF : ミッシングリンク機能が無効になり、リンクテスト機能が有効になります。
- ※ ミッシングリンク機能とは、100BASE-TX側あるいは100Mbps光ポート側、いずれか一方のリンクが切断された場合、もう一方のリンクを強制的に切断する機能です。
- 100BASE-TXポート (MDI)**
UTPケーブル（カテゴリー5以上）を接続するためのコネクタです。オートネゴシエーション機能をサポートしています。
- プロダクト識別シール**
製品名を識別するシールです。
LMC100シリーズには製品外観が全く同じ機種がありますので、ご使用の際は必ず製品名をご確認ください。このシールは絶対にはがさないでください。
- MISSING LINK LED**
ミッシングリンク機能のON/OFFを表示します。

| LED | 色 | 状態 | 表示内容 |
|---------|---|----|---|
| PWR /ML | 緑 | 点灯 | 電源が正しく供給され、かつミッシングリンク機能が有効に設定されています。 |
| | | 点灯 | 電源が正しく供給され、かつミッシングリンク機能が無効に設定されています。リンクテスト機能が動作しています。 |

100Mbps 光ポート側および100BASE-TXポート側の通信が切断されているか各LEDを確認することができます。

- OPTICAL PORT LED**
100Mbps 光ポートの状態を表示します。

| LED | 色 | 状態 | 表示内容 |
|--------------|---|----|----------------|
| OPTICAL PORT | 緑 | 点灯 | リンクが確立しています。 |
| | | 点滅 | パケットを送受信しています。 |
| — | — | 消灯 | リンクが確立していません。 |
- 100BASE-TX PORT LED**
100BASE-TXポートの状態を表示します。

| LED | 色 | 状態 | 表示内容 |
|-----------------|---|----|----------------|
| 100BASE-TX PORT | 緑 | 点灯 | リンクが確立しています。 |
| | | 点滅 | パケットを送受信しています。 |
| — | — | 消灯 | リンクが確立していません。 |

- 100Mbps 光ポート**
対向の機器と光ファイバーケーブルで接続するためのポート（2心）です。
LMC101/102:
マルチモード光ファイバーケーブル (MMF) 対応
LMC103/103LH:
シングルモード光ファイバーケーブル (SMF) 対応
コネクタタイプは「9 インターフェース仕様」項を参照してください。

- 警告**
目に傷害を被る場合がありますので、光ポートおよび光ファイバーケーブルはのぞきこまないでください。(CLASS 1 LASER PRODUCT)

- DC ジャック**
プラグ抜け防止機能付き AC アダプターの DC プラグを接続するためのコネクタです。
LOCK: DC プラグを差し込んで右に回すと、ロックがかかります。
UNLOCK: DC プラグを抜くときは、左に回してロックをはずしてから抜いてください。

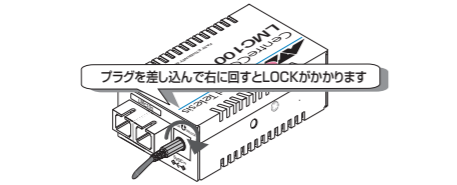


図4 DCプラグの取り付け

- アース取付用ネジ穴**
アースを取り付けるためのネジ穴です。本製品に同梱されている付属のネジを使用してアースを取り付けてください。通常アースを取り付ける必要はありません。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

- 平らなところへの水平方向の設置

オプション（別売）を利用することにより、次の方法による設置ができます。

- ラックマウントキット（AT-RKMT-J06、AT-RKMT-J11PS、AT-RKMT-J12PS）による19インチラックへの設置
- マグネットキット（AT-BRKT-J20）によるスチール面への設置
- DINレールマウントキット（AT-DRMT-J01）によるDINレールへの設置

- 警告**
・弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

- ・水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。

設置準備

● 設置するときの注意

設置にあたっては、次の点にご注意ください。

- ACアダプターや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機のそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本体にある通風口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にもものを置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子にさわらないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

設置

● 平らなところに設置する

本製品をデスクの上などに設置して使用します。

オプションを利用した設置

● 19インチラックへの設置

本製品を19インチラックに取り付ける場合には、オプションの19インチラックマウントキット AT-RKMT-J06、電源ユニット付き19インチラックマウントキット AT-RKMT-J11PS、または電源ユニット付きスライドレイ19インチラックマウントキット AT-RKMT-J12PSをご使用ください。

ラックマウントキットの使用方法は、AT-RKMT-J06、AT-RKMT-J11PS、AT-RKMT-J12PSの取扱説明書をご参照ください。

- 警告**
・本製品をオプションの19インチラックマウントキットを使用して19インチラックに取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

- ・ラックマウントキットの本製品への取り付けは、ラックマウントキットの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使用した場合、感電、火災、故障などの危険があります。

● スチール製壁面への設置

スチール製の壁面への設置には、AT-BRKT-J20をご使用ください。

AT-BRKT-J20の使用方法は、AT-BRKT-J20の取扱説明書をご参照ください。

マグネットを使用して壁面に設置する場合は、必ず下図の○の方向に設置してください。

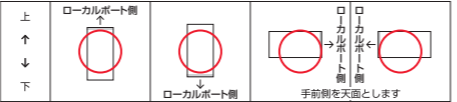


図5 マグネットを使用する場合の設置方向

- 注意**
設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合があります。

- 警告**
・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

- ・マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。
- ・マグネットの取り付けは、マグネットキットの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使用した場合、感電、火災、故障などの危険があります。

● DINレールへの設置

DINレール（DIN規格35mmレール）への設置には、AT-DRMT-J01をご使用ください。

AT-DRMT-J01の使用方法は、AT-DRMT-J01の取扱説明書をご参照ください。

AT-DRMT-J01を使用してDINレールに設置する場合は、必ず下図の○の方向に設置してください。



図6 DINレールマウントキットを使用する場合の設置方向

- 警告**
・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

6 接続

ネットワーク機器の接続

● 100BASE-TXポート

カテゴリー5以上のUTPケーブルを使用して本製品のローカルポートとネットワーク機器を接続します。

| 対向機器 | LMC100シリーズ AUTO-NEGOTIATION | |
|--------------|--------------------------------|----|
| | OFF | ON |
| 100M Full 固定 | ○ | — |
| Auto | — | ○ |

● 100Mbps光ポート

2本のマルチモードファイバー（LMC101/LMC102）またはシングルモードファイバー（LMC103/LMC103LH）を使用して、本製品のリモートポートと対向機器を接続します。

100Mbps光ポートに、各製品に対応した光ファイバーケーブルを接続します（「9 インターフェース仕様」項参照）。光ファイバーケーブルは2本で1対になっています。接続先機器のRXからのびているケーブルを本製品のTXに、接続先機器のTXからのびているケーブルを本製品のRXに接続してください。

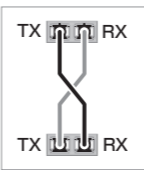


図7 光ファイバーケーブルの接続

- 警告**
目に傷害を被る場合がありますので、光ポートおよび光ファイバーケーブルはのぞきこまないでください。(CLASS 1 LASER PRODUCT)

- ヒント**
光ファイバーケーブルは折れやすいので取り扱いにご注意ください。

電源の接続(本製品の起動)

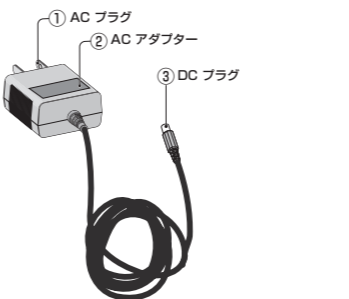


図8 ACアダプター

- 注意**
本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

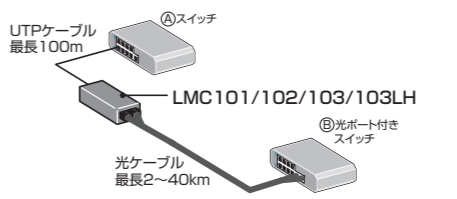
- 警告**
必ず、付属のACアダプターを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。それ以外のACアダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

DCプラグを本体のDCジャックに接続し、ACプラグ側を電源コンセントに差し込みます。

対向機器の電源が入っており、各メディアのケーブルが正しく接続されれば、本製品のすべてのLEDが点灯します。

7 接続例

● 接続例1



● 接続例2

※ LMC100シリーズを対向で使用する場合は、必ず同一製品をご利用ください。

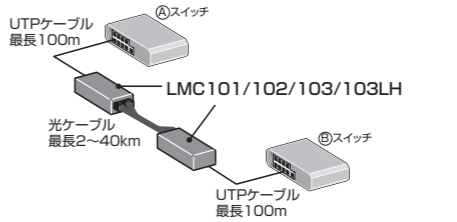


図9 接続例

8 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● PWR/ML LEDは正しく点灯していますか?

- 本製品のACアダプターのDCプラグやACプラグが正しく接続されているかどうかを確認してください。本製品には電源スイッチはありません。本製品の起動と停止は、DCプラグを本製品に接続したままACプラグの抜き差しによって行ってください。

● 電源をオフした後、すぐにオンしていませんか?

- 電源をオフしてから再度オンする場合は、しばらく間をあけてください。

● ポートLEDは正しく点灯していますか?

- 対向機器に電源が入っているか、もしくは対向機器のミッシングリンク機能により回線がリンクダウンしていないかどうかを確認してください。

- UTPケーブルおよび光ファイバーケーブルが正しく接続されているか、正しいケーブルを使用しているか、断線していないかなどを確認してください。ケーブルの不良は外観からは判断しにくい（結線は良いが特性が悪い場合など）、他のケーブルに交換して試してみてください。また、ケーブルの長さが制限を超えていないか確認してください。

- ポート設定切替スイッチのAUTO（オートネゴシエーション機能）を確認してください。接続先機器と同じ通信モード（AUTO/Full 固定）になっている必要があります。

- ポート設定切替スイッチのML（ミッシングリンク機能）をOFFにすると、リンクテスト機能に切り替わります。リンクが確立しない場合は、ポートLEDが消灯しているポート側を確認してください。

- ポート設定切替スイッチの設定を変更しても正しく動作しない場合は、ACプラグをコンセントから抜き、しばらくしてから電源を投入し直してください。

9 インターフェース仕様

● 100Mbps 光インターフェース

| | 推奨ケーブル | 最大伝送距離 |
|---------------------|---|----------------|
| LMC101 LMC102 | GI 50/125 マルチモードファイバー (ITU-T G.651.2 準拠) GI 62.5/125 マルチモードファイバー | 2km |
| LMC103 LMC103LH* | シングルモードファイバー (ITU-T G.652 準拠) | 15km* 40km* |

※ 使用環境によっては、アッテネーターが必要となる場合があります。

| | LMC101 | LMC102 | LMC103 | LMC103LH |
|--------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|----------|
| 光ポート | 2連ST | | 2連SC | |
| 中心波長 | 1310nm | | | |
| 送信光レベル | 最大 | -1.4dBm ^{*1} | -8dBm | 0dBm |
| | 最小 | -20dBm ^{*1} | -15dBm | -5dBm |
| 受信光レベル | 最大 | -1.4dBm | -8dBm | -8dBm |
| | 最小 | -31dBm | -32dBm | -34dBm |
| 許容損失 ^{*2} | 11dB ^{*1} | 17dB | 29dB ^{*3} | |

※ 1 GI62.5/125μmのマルチモードファイバーを使用したとき。
GI50/125μmのマルチモードファイバーを使用する場合、上記に加えて4dB程度の損失が発生します。

※ 2 同一製品を対向で使用した場合です。

※ 3 使用環境によっては、アッテネーターが必要となる場合があります。

10 製品仕様

| 準拠規格 | |
|---------------|--|
| | IEEE 802.3u 100BASE-TX 100BASE-FX (PMD 部を除く) |
| 適合規格 | |
| 安全規格 | UL60950-1 |
| EMI 規格 | VCCI クラスA |
| 電源部 | |
| 定格入力電圧 | AC100-120V |
| 入力電圧範囲 | AC90-132V |
| 定格周波数 | 50/60Hz |
| 定格入力電流 | 0.2A |
| 最大入力電流 (実測値) | 0.08A |
| 平均消費電力 | 3.3W (最大4.6W) |
| 平均発熱量 | 11.7kJ/h (最大16.7kJ/h) |
| 環境条件 | |
| 動作時温度 | 0 ~ 40℃ |
| 動作時湿度 | 80% 以下 (ただし、結露なきこと) |
| 保管時温度 | -20 ~ 60℃ |
| 保管時湿度 | 95% 以下 (ただし、結露なきこと) |
| 外形寸法 (突起部含まず) | |
| | 41.5(W) × 81.5(D) × 25.4(H)mm |
| 質量 | |
| | 100g (ACアダプターを含まず) |

11 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

| アライドテレシス株式会社 修理受付窓口 | |
|--|-------------------------------|
| http://www.allied-teleis.co.jp/support/repair/ | |
| ☎ 0120-860332 | |
| 携帯電話 / PHS からは: | 045-476-6218 |
| 月～金 (祝・祭日を除く) | 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 |

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

12 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

| アライドテレシス株式会社 サポートセンター | |
|--|-------------------------------|
| http://www.allied-teleis.co.jp/support/info/ | |
| ☎ 0120-860772 | |
| 携帯電話 / PHS からは: | 045-476-6203 |
| 月～金 (祝・祭日を除く) | 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 |

13 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるように、以下の点についてお知らせください。なお、都合により弊社からの連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポートID 番号」を取得している場合、サポートID 番号をお知らせください。サポートID 番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただいてもかまいません。

- サポートの依頼日